

# あまがさ

市議会だより



令和6年  
**11月1日**  
令和6年  
9月議会号 No.79



## CONTENTS

P2	主な補正予算	P8	総括質疑
P3	条例改正・意見書・人事	P9~P13	一般質問
P4	審議結果	P14	常任委員会報告
P5	賛成意見・反対意見	P15	意見交換会
P6~P7	令和5年度決算審査	P16	市民の声・表紙紹介

9月定例会

9/6 ~ 9/27

# 子育て支援と 教育の充実へ



## 主な補正予算

<b>合併20周年記念市勢要覧制作委託料</b>	342万円
<b>公共施設省エネ改修(LED化)工事費等</b> ● 公共施設省エネ改修工事費(うきはアリーナ、うきは市役所、西別館、吉井中学校、その他) …… 3億3110万円 ● 総合福祉センターZEB化改修設計業務委託料 …… 999万円	3億4109万円 
<b>子ども医療費制度改正(高校生世代まで医療費等無償化)に伴う子ども医療システム改修委託料</b>	179万円
<b>うきは西部工業用地造成事業調査委託費(繰越明許※1)</b> ● 用地測量委託費 (用地測量、土地所有権調査、不動産鑑定等) …… 2億2500万円 ● 物件補償調査委託費(工作物、立木等の物件調査) …… 6500万円 事業区域 うきは市吉井町鷹取地区、富永地区 約27ha	2億9000万円 
<b>道の駅うきは物産館改修工事費</b> 施設の著しい老朽化と混雑解消のため、売り場面積を拡大する必要がある。更には防災道の駅に選定され施設機能強化が求められるため、改修工事を行うものです。	2億9628万円 
<b>学校再編事業支援委託料(次年度の債務負担行為※2を含む)</b> 築50年をむかえ、老朽化する浮羽中学校の建て替え等の検討を契機に、浮羽町域における小中学校の在り方・教育体制・地域との連携などを再構築していくものです。	3533万円
<b>公立小中学生の就学援助対象者拡大</b> 所得制限を緩和するものです。 (私立は対象外、特別支援学校は別制度)	1500万円 
<b>大雨災害復旧費</b> 6月30日から7月1日にかけて降り続いた大雨被害に対する災害復旧費です。(専決補正第3号を含む)	4億9075万円 

※1:繰越明許費とは、年度内に支出が終わらないものを次年度に繰り越して使用できる制度。

※2:債務負担行為とは、自治体が将来にわたり債務を負担する行為。

## 条例改正

### 印鑑登録証明書の コンビニ交付を 12月16日から開始予定！

印鑑条例の一部を改正する  
条例の制定について

#### 改正内容

- 印鑑証明書の窓口交付時、本人申請で印鑑登録証を忘れた場合、マイナンバーカードや運転免許証があれば発行できるように改正するものです。
- 印鑑証明書のコンビニ交付、携帯電話（LINE やマイナポータル利用）からの申請に対する条例を整備するものです。



厚生文教常任委員会から政策提言していた

### こども医療費無償化を 高校生世代まで拡大!!

こども医療費無償化を高校生世代まで拡大することで、疾病の早期発見と治療を促進し、子育て世帯の経済的負担の軽減を目的に、子育て支援策として制度を拡充するものです。

制度改正のため「子ども医療費の支給に関する条例」「重度障がい者医療費の支給に関する条例」「ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例」の一部を改正するものです。

※実施は、令和7年4月1日からです。

## 意見書

#### 【意見第3号】

多様な人材の地方議会への参画促進を  
求める意見書」

提出者 議会運営委員長 佐藤 裕宣  
.....

#### 【意見第4号】

「現在の健康保険証の存続を求める  
意見書」

提出者 うきは市議会議員 岩淵 和明  
.....

#### 【意見第5号】

「地方財政の充実・強化に関する意見書」

請願者 自治労うきは市職員労働組合  
執行委員長 石井 孝二

紹介議員 野鶴 修

提出者 うきは市議会議員 岩淵 和明

## 人事

### 人権擁護委員

くぼた かずのり  
久保田 一徳 さん **再**

たかやま みよし  
高山 三好 さん **新**

やまて ひさこ  
山手 寿子 さん **新**

おおつか ゆうこ  
大塚 祐子 さん **新**

任期は令和7年1月から3年間です。

# 9月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	審議結果
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて〔令和6年度うきは市一般会計補正予算(第3号)〕	承認
議案第37号	令和6年度うきは市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第38号	令和6年度うきは市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第39号	令和6年度うきは市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第40号	令和6年度うきは市立自動車学校特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第41号	令和6年度うきは市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第42号	人権擁護委員の推薦について	適任
議案第43号	うきは市西部工業用地造成事業に関する基本協定の締結について	可決
議案第44号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	可決
議案第45号	電子情報処理組織による戸籍事務の事務委託に関する規約の変更について	可決
議案第46号	うきは市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第47号	うきは市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第48号	うきは市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第49号	うきは市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第50号	うきは市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第51号	令和5年度うきは市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第52号	令和5年度うきは市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第53号	令和5年度うきは市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第54号	令和5年度うきは市立自動車学校特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第55号	令和5年度うきは市簡易水道事業会計決算の認定について	認定
議案第56号	令和5年度うきは市下水道事業会計決算の認定について	認定
請願第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願	採択
意見第3号	多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書(案)の提出について	可決
意見第4号	現在の健康保険証の存続を求める意見書(案)の提出について	可決
意見第5号	地方財政の充実・強化に関する意見書(案)の提出について	可決

## 賛否が分かれた案件

上表は、議案などの審議結果です。また、下表には、賛否が分かれた案件(上表の網掛け部分)の状況を掲載しています。(現議員数13名)

案件	議員名	欠員	議員名												
			高木亜希子	高松幸茂	樋口隆三	組坂公明	佐藤裕宣	野鶴修	竹永茂美	岩淵和明	中野義信	佐藤湛陽	伊藤善康	熊懐和明	
議案第37号	11:1		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第44号	9:3		○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○
議案第50号	9:3		○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○

※議長(江藤芳光)は可否同数になった場合のみ表決に参加します。(賛成:○、反対:●)

# 議員同志の本気のバトル!!

# 議会討論

白熱!

かんかんがくがく  
侃々諤々

議案第37号

## 令和6年度うきは市一般会計補正予算(第4号)

可決

反対



竹永 茂美

学校再編事業支援委託料について反対する。浮羽地区小学校の問題と中学校建て替え問題が抱き合わせとなっており、別議案で出すべきであった。

学校再編は外部コンサルタントに委託するのではなく、関係する子どもや保護者、地域の声を聞いて進めべきなので反対する。

浮羽中学校建て替えをはじめとする学校再編問題は喫緊の課題であり、当初からコンサル業者が入ることで専門的な法的課題等が抽出され、事業が進めやすいとの説明があった。予算化することで現実的な議論が進むものであり賛成する。

賛成



野鶴 修

議案第44号

## 福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について

可決

反対



岩淵 和明

国の法律改正に伴う規約の改正とのことであるが、県民の不安が払拭されるまで現行の保険証を存続することを求めるものであり、改正マイナンバー法を盾にした今回の規約の改正は反対する。

【提案理由】国の法律改正により被保険者証が令和6年12月2日以降発行されなくなるため、福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更するものです。

国の法改正で決定がなされており、うきは市だけが規約の改正をしないと、他の地域より遅れをとるような形になる。国の改正に基づき、きちんと改正し、今後について市民に周知徹底を行うべきである。

賛成



野鶴 修

議案第50号

## うきは市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

可決

反対



岩淵 和明

マイナ保険証の登録は個人の任意に基づくもので、一方的な保険証廃止に反対する。マイナンバーカードを登録していない多くの被保険者のフォローアップをしないで、保険証廃止は反対する。

【提案理由】国の法律改正により被保険者証が令和6年12月2日以降発行されなくなるため、条例に記載がある被保険者証について整理するものです。

スムーズな運営をしていくためには、上位法の改正に基づく条例の改正を行うべきである。

賛成



野鶴 修

9/13~20  
5日間 集中審査

# 令和5年度 決算審査 [一般会計]

歳入決算 **182億 7731万 9192円**  
 歳出決算 **174億 7468万 4083円** を認定

決算審査に当たり、監査委員から『令和5年度うきは市各会計歳入歳出決算書及び基金運用状況審査意見書・財政健全化審査意見書・公営企業会計健全化審査意見書』の提出と説明を受け、質疑応答を行いました。また、執行部から『令和5年度うきは市歳入歳出決算書及び決算の付属資料（一般会計歳入歳出決算事項別明細書）』などの決算書類の提出と各課各係から説明を受け質疑応答、慎重審査しました。

## 出された主な質問・意見

<p><b>選挙費は？</b>                  県議や市長選挙の投票率が低いが、政治と市民の生活をつなげる対策は</p>	<p><b>地域振興費は？</b>                  空き家バンクの活用策について</p>	<p><b>林業費は？</b>                  木材活用、中山間地問題、林業振興策、市有林について</p>
<p><b>人事管理費は？</b>                  人員不足の時代、有資格者を含め定数まではもっと採用すべきでは</p>	<p><b>農業振興策は？</b>                  農地集約、新規就農、荒廃農地問題について</p>	<p><b>母子保健事業は？</b>                  多くの支援策の成果について</p>

市の財政状況は、数値や指標から判断すると概ね健全と考えられる。新型コロナウイルス感染症対策、物価上昇、災害復旧など市民生活の安全・安心を守るため行政需要は増す。人口減少社会に伴う税収への影響や扶助費、医療費等の増大傾向による財政支出は大きな影響を及ぼす。総合計画や実施計画に基づいた施策や事業を着実に推進すると同時に、優先度に応じた事業の取捨選択、財源の効率的な配分に努めていただきたい。



### 歳入歳出決算

(単位:円)

会計名	歳入決算額	繰入額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	18,277,319,192	0	17,474,684,083	802,635,109
国民健康保険事業特別会計	3,881,648,974	289,340,944	3,869,984,025	11,664,949
後期高齢者医療事業特別会計	514,367,935	152,947,206	512,353,595	2,014,340
自動車学校特別会計	124,220,675	0	120,637,534	3,583,141
簡易水道事業会計(企業会計)	—	59,000,000	—	—
下水道事業会計(企業会計)	—	757,873,000	—	—

# 令和5年度の主な取り組み

令和5年度は豪雨復旧事業や新型コロナウイルス感染症が落ち着く一方、物価高騰が顕著になり対策が必要になりました。

**新型コロナウイルス感染症  
対策地方創生臨時交付金**  
2億2402万5423円

**物価高騰重点支援地方創生  
臨時交付金**  
2億7334万7950円

**防災行政無線システム  
更新工事費 (23ヶ所)**  
1億1550万円



**災害復旧費 7億597万3140円**

- 農林水産業施設災害復旧費  
.....1億7300万8663円
- 公共土木施設災害復旧費  
.....5億2695万9679円
- 文教施設災害復旧費  
.....600万4798円

**議会タブレット  
端末等購入**  
441万8590円



**ヤングケアラー  
実態調査事業**  
166万1000円



**白壁の小路  
整備工事費**  
3658万9300円



## 公営企業会計決算

(単位:円)

会計名		予算額	決算額
簡易水道事業会計 (資本的収入が資本的支出に不足する額 6,092,226円は過年度消費税などで補填)	収益的収入	72,111,000	72,344,787
	収益的支出	71,453,000	66,270,374
	資本的収入	0	0
	資本的支出	7,093,000	6,092,226
下水道事業会計 (資本的収入が資本的支出に不足する額 422,489,608円は当年度損益勘定留保 金などで補填)	収益的収入	1,356,251,000	1,414,247,557
	収益的支出	1,342,274,200	1,251,538,504
	資本的収入	1,159,957,000	1,046,472,265
	資本的支出	1,631,170,000	1,468,961,873

**地方債の状況** 189,228 **減** (単位:千円)

令和5年度末地方債残高	10,895,297
令和4年度末地方債残高	11,084,525

**地方債とは**

自治体にとって「借金」のこと。  
資金調達するために借り入れるもの。

**基金の状況** 662,347 **増** (単位:千円)

令和5年度末基金残高	14,941,701
令和4年度末基金残高	14,279,354

**基金とは**

自治体にとって「貯金」のこと。  
収入不足を補ったり余剰金を積み立てるもの。



# 権藤新市長に対し

# 6名が総括質疑!

農業支援

人事体制

事業見直し

Q

## 事業見直し

前市長が取り組んだ中で有効な事業は残すとして、見直しはするのか。公共施設の管理等への今後の考え方は。[伊藤]

A

良いところは伸ばして成果の出ていないところは仕切り直していく。総合管理計画の中で統合・集約対象のものは、スピード感を早めたい。

Q

## 学校・教職員の負担軽減

学校徴収金（給食費や修学旅行費など）の徴収・管理は、公会計化できないのか。[竹永]

A

給食費などの徴収金については、現状口座振替となっている。保護者の利便性も考えながら、今後検討する。

Q

## 農業者への支援

農業はうきは市の基幹産業である。農業法人の従業員に対する家賃補助にもぜひ取り組んでどうか。[佐藤(湛)]

A

現在の家賃補助は企業誘致対策の雇用促進を目的に作られている。農業法人の従業員向けについては、今後検討していきたい。

Q

## 人事交流について

国・県の職員とうきは市職員の人事交流（出向）は今後も考えているか。[中野]

A

考え方は同じ方向。今後は、民間人材を活かす民間企業との人事交流も進めたい。また戻った職員が知見を活かせる部署へ配置していきたい。

Q

## ラグビープロジェクトと農業の人材育成について

ラグビータウンプロジェクトの展望はどうか。農業を担う人材育成にもっと力をいれてはどうか。[野鶴]

A

ラグビーを「見える化」し、身近に感じられるよう勧めていきたい。農業を担う人材の育成は重要。農業プロジェクト会議で検討していく。

Q

## 専門職会計年度任用職員の処遇改善

専門職にも関わらず低賃金の不安定雇用がある。官製ワーキングプアという言葉もある。処遇改善を！[高松]

A

正規職員登用への道はある。仕事と家庭の両立のために様々な働き方を選んでいる方もいる。限りある予算内で適材適所を考える。

9月定例会での総括質疑は決算特別委員会で行われるので令和5年度決算や市長の施政方針に対する質疑です。議案の詳細な審査は委員会で行い、総括質疑では、根本的なものについて質疑応答が行われます。

新市長に変わったために、今回の総括では「前市長の方針から新市長が継続するもの、あるいは変更していくものが何なのか」を問う議員が多かったように思います。市民の皆さんはこれらをお読みになり、どのように感じられるでしょうか。

チェック!





くみさか きみあき  
組坂公明  
議員

上水道事業をどのように進めていくのか



フル整備にこだわらない、水に困る市民に寄り添う新たな提案をしていく



市長

〔上水道事業について〕

**組坂** 喫緊の課題である上水道事業を今後どのように進めていくのか。

**市長** 上水道事業の説明用パンフレットを9月に全世帯配布している。上水道事業にあつては、フル整備にこだわらない、水に困る市民に寄り添う新たな提案を行いながら、実現可能な方策について検討を進めていく。

〔市長の施政方針について〕

**組坂** 具体的にどのような施策を行っていくのか。

**市長** うきは市在住の子どもたちと子育て世代の方に対するトータルサポート事業であるうきはっ子未来サポート事業に取り組む。具体的には、  
①子ども医療費の拡充（高校生世代までの医療費無償化）②浮羽町



▲上水道は必要？それとも不必要？うきはの水について考えよう！

域学校再編事業の検討③就学援助費の拡充④子育て、見守り、おむつの定期便事業⑤子ども古墳カルチャーガイドの支援⑥うきはっ子ふれあい給食

以上、うきは市の未来を担う子どもたちの支援事業について、高い熱量をもって取り組んでいく。

その他の質問

▼ごみ処理施設更新問題

▼公共施設等総合管理計画について

▼中山間地域の消防団について



なかの よしのぶ  
中野義信  
議員

子ども医療費の無償化を検討する費用が、今年度178万円だが



実現したい施策の柱として、子育て世代の負担軽減を掲げた



市長

**中野** 市長は、子ども医療費、給食費、教材費などの段階的な負担軽減を打ち出している。その考え方、その概算の費用は。

**市長** 子ども医療費は、昨年9月定例会で、議会の厚生文教常任委員会の政策提言を踏まえて、本9月定例会に令和7年4月1日から無償化を18歳に達した後の最初の3月31日までに拡充する条例改正の提案である。  
令和7年4月からの追加費用は概算で5300万円を見込んでいます。

〔上水道事業基本計画の見直し〕

**中野** 今回、事業説明用パンフレットができ、市民負担や全体収支が示されている。今後市民が上水道事業をどのように考えていくのか大事だと思う。市長の考えを伺う。  
**市長** 平成22年度に策定した水道事業基本計画を見直し、再計算し

た事業費の内容を踏まえて作成したパンフレットを、本年9月には区長文書で全世帯に配布している。それには、使用料金の想定額を掲載している。また、公約に掲げていた、フル整備にこだわらない、水に困る市民に寄り添う新たな提案として、地下水に恵まれた本市においても、一定数おられる水質、水量等にお困りの市民に対する支援策等、検討し取り組んでいきたい。

その他の質問

▼クリンステーションの運営

▼審議会・協議会等の女性登用率



▲子ども医療費無償化の対象拡大



たかき あきこ  
高木亜希子  
議員

浮羽中建て替え問題と  
浮羽町域の小学校の  
あり方、新市長の考えは



市全体の教育行政の中で、学校再編は大きな課題だ



市長

**高木** 前市長は退任時に浮羽中老朽化を重要課題としていた。昨今、建物のコストは大幅に上昇、建設業界の2024年問題もある。早期に対応してもらいたい課題だ。老朽化問題及び浮羽町域の小学校について新市長の考えは。

**市長** 浮羽中の建て替えを検討することは長期的かつ広域的にしっかりと捉えることが重要。6年後には浮羽中267人、山春小59人、大石小85人になる見込み。今後、様々な協議を行う検討委員会を設置し、基本構想・基本計画を作成していきたい。

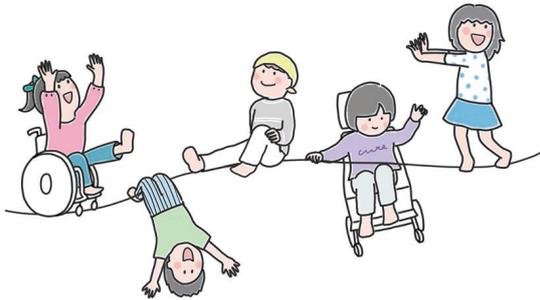
**高木** 小規模校と少人数指導は意味が違う。集団の中から子どもたちの社会性が育っていく。切磋琢磨しながら育つ環境づくりを。

**市長** 浮羽町域のみならず市全体の教育行政の中で学校再編は大き

な課題。また、子どもたちの生の声を聞いて、困っていることの改善や、いいなという事を具現化していきたい。

その他の質問

▼多様化する学びを支える交通手段について



▲子どもたちがイキイキと成長する学びの環境づくりを!



いわぶち かずあき  
岩淵和明  
議員

熱中症対策の啓発は



防災無線・LINE・ホームページで呼びかけて啓発を実施



市長

**岩淵** 現状の対応は。

**市長** 熱中症による救急搬送が8割高齢者で、実態を踏まえ、集いの場や高齢者が集まる機会に、予防チラシの配布や講話を行い、予防活動に取り組んでいる。

**岩淵** 高温災害と捉え、公共施設や地域団体と連携し、施設開放の検討を求める。

**市長** 暑さ指数35と予測される場合、市町村が冷房施設等の要件を満たす施設を、クーリングシェルターと指定し、市民に開放する制度がある。

本市はまだ指定施設はないが、関係各課と協議し検討したい。

**岩淵** 熱中症で救急搬送される実態を調べる部署は何処か。

**市長** 分析や調査する部署はないが、傾向を把握し地域消防本部と連絡するのは、保健課が担っている。

暑さ指数 (WBGT) 日常生活に関する指針

【25未満】	一般に危険性は少ないが時には発生する危険性がある。
【25以上 28未満】	運動や激しい作業時は定期的に十分に休息をとる。
【28以上 31未満】	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意。
【31以上】	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動。

※日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.4」(2022)より改編

**福岡県国保運営方針**  
**岩淵** 今年4月福岡県国保第二期運営方針が示され、県内保険水準の統一に向け、考えが示されたが対応を伺う。

**市長** 国保税率改定は、減少する被保険者数・1人当たり医療費、新たな子ども・子育て支援金等、算定資料を参考に定める。



さとう ひろのぶ  
佐藤裕宣  
議員

## かわせみホール 今後の市長の方針は



早急に取組を進める



市長

**佐藤** 施設管理計画見直しの中で大事なものはスケジュール感だと思う。何年度までにというスケジュールのもとに新たな公共施設管理計画を進めていく事を提案する。

**市長** 令和9年度から新しい計画を策定する予定だが対象の施設や内容によっては前倒し、そういったことも検討しながら維持管理に努めてまいりたいと考えている。

**佐藤** 研究館高校の存続と活性化に向けた取組についてどういったものが求められているか見解を伺う。

**市長** 行政も含めて地域全体で学校を盛り上げていく、支えていく、そういった組織であったり取組であったり、そういった活動が、今後研究館高校を取り巻く環境の

中で必要だと感じている。

**佐藤** 出馬記者会見の際、市長は子育て世代を呼び込むために他の自治体にはないような施策を、と述べられたが具体的には。

**市長** 私自身が直接学校に出向き、子ども達と給食を食べながら子ども達のニーズを把握し、子育て世代への必要な支援の検討材料を探索していきたいと考えている。



▲うきは市民ホール（かわせみホール）



いとう よしやす  
伊藤善康  
議員

## 選挙公約に「上水道整備はフル整備にはこだわらない」とあるが



簡易給水施設の整備等も考えている



市長

**伊藤** 市長が進める整備は簡易水道で、小石原の水は使わないということか。

**市長** いわゆる上水道のフル装備、小石原川ダムの権利を使った上水道の整備を排除するものではない。

**伊藤** 市長が先頭に立ってしっかりと汗をかいてもらわないと、20年近く抱えている問題だ。

**市長** 4年間で何とか方向性を見出したい。丁寧な議論を進めながら、より皆様に理解を頂けるように、しっかりと汗をかいていく。

**伊藤** 実現できるか。

**市長** 新駅設置にはしっかりと力を尽くす。

**伊藤** 障がい者に優しい街づくりにできるか。

国や県、関係機関と連携を取り組んでいく。

**市長** 国や県、関係機関と連携を取り組んでいく。

**伊藤** トップセールスをやるにあつたが具体的にはどうか。

**市長** 現在実施しているが、今後は、うきはブランドが定着するように頑張りたい。

**伊藤** プロジェクト会議についての市長の見解は。

**市長** 再開に向けて調整会議を開始したところだ。

その他の質問

▼姫治地区への上水道の説明

▼人口減少と浮羽町域の過疎地指定について

▼実施されなかった市議会議員補欠選挙について





たけながしげみ  
竹永茂美  
議員

夏休みの小学校プール  
開放について子どもたち  
の意見を聞くのか



ふれあい給食で各小学校を回るの  
でその時間きたい



市長

**竹永** 夏休みの各小学校のプール  
開放の実績は。

**教育長** 山春小PTAが13日間開  
放した。

**福祉事務所長** 福富学童保育所が  
昨年から、千年学童保育所が今年  
夏休み期間、開放した。

**竹永** 他の学童保育所などから要  
望があれば開放するのか。

**教育長** 要望があれば検討する。

**竹永** 通学路整備の昨年度実績と  
本年度の計画は。

**市長** 昨年度は千年小1件、吉井  
小1件、江南小2件、福富小2件、  
御幸小1件、山春小2件の合計9  
件。本年度は江南小1件、御幸小  
1件、山春小3件、大石小1件の  
合計6件。

**竹永** 富永工業団地の危険なブ  
ロック塀は会社に対し、地元区長、  
PTA代表が要望書提出後、二カ



▲2018年からの要望  
が実現（富永工業団  
地内の危険なブロッ  
ク塀撤去、全区域フェ  
ンスに改修）

▼超勤縮減のため、市職員補充  
や少人数学級拡大について

その他の質問

**学校教育課長** 全児童生徒に通知  
を再度出す。

**竹永** 外国家庭や転入家庭も対  
象か。

**市長** 生活保護家庭の1・3倍で  
9月補正予算に計上した。

**竹永** 就学援助費の取組の現状は。

**市長** 重要な課題でありしっかり  
取り組んでいかなければならない。

**市長** 通学路にあるブロック塀の撤去は  
出来ないのか。

月余りで改修が終わった。危険な  
通学路にあるブロック塀の撤去は  
出来ないのか。

協働のまちづくり基本条  
例について



たかまつ ゆきしげ  
高松幸茂  
議員



まちづくりの根幹となる条例である



市長

**高松** 協働の実績と課題への認識  
はどうか。

**市長** 自治協議会の発足、地域計  
画の策定後、住民主体の取組がさ  
れてきた。

共通の課題は担い手不足。地域  
課題を自分事と捉え、自らが課題  
解決に取り組めるよう、条例の周  
知と理解を進め、協働で取り組  
みたい。

**高松** 条例の浸透と定着のための  
方策はどうか。

**市長** これまでさまざまな形で周  
知に取り組んできたが、自分事と  
して体験できるような新たな取組  
を考えてみたい。

**高松** 請求による情報公開より、  
自発的（積極的）な情報提供が望  
ましいが、見解は。

**市長** 市民と職員の協働意識が高  
まり、市民からの積極的な情報公

開請求が増えると、市からの情報  
発信（提供）につながると思う。

**高松** 行政課題に対する関心を市  
民に持ってもらう効果のある「く  
じ引き民主主義」という意見集約  
の手法を取り入れられないか。

**市長** 住民の意見集約のために自  
治協議会の話聞くこと等は、こ  
れまでやってきている。

多様な世代の参加を得て市の施  
策などを協議する場を設けること  
は重要だと思う。人選は、抽選だ  
けでなく研究したい。

◀うきは市協働  
のまちづくり  
基本条例解説



◀HPで条例制定  
通知（2015.6.9）



【くじ引き民主主義での人選方法】



のづる おさむ  
野鶴 修  
議員

## 三春工業団地と杷木イン ターを結ぶ下の川く荒瀬 線の改良計画について



現時点においては、改良工事を実施することは考えておりません



市長

### 野鶴

現在の杷木インターへのアクセス道路は県道保木吉井線である。この道路は歩道もなく道幅も非常に狭く、危険な状況である。三春工業団地もすべての用地が売却され、大石高見交差点も令和7年3月で完成すれば、ますます県道の通行量が増えてくることが予想される。市道下の川く荒瀬線は、平成24年に改良工事の調査設計がなされている。その設計書にのっとりて改良工事はできないのか。早くしないと3年ないし4年ぐらいかかると思うが。

**市長** 現時点においては、すぐに実施を行うことは考えていないが、県道保木吉井線の現状が危険であることは承知している。現在県道は、周りに民家がびっしりと道路に張り付いている状態であり、道路拡幅や歩道整備には、

時間もお金も費やすものだと考えている。また、市道下の川く荒瀬線の改良工事計画を平成24年に調査設計しているが、この道路整備が本当に必要なものか。工事実施に至っていない経過や経緯等を調査して、考えていきたい。

### その他の質問

▼中山間地域の農村・農業を守る施策について



▶改良工事が待たれる市道下の川く荒瀬線



さとう たんよう  
佐藤 湛陽  
議員

## 市政運営について



①若い世代の政治参加への施策推進に努める  
②新たな時代に合った施策を提案し、実行していく



市長

### 佐藤

今、人口が増えている地域で共通しているものが、指針がしっかりしている学校がある地域の人口が伸びているようだ。浮羽中学校の建て替えを機に小中一貫校にしてはどうか。

**市長** 学校再編事業ということで予算化しており、前向きに進めていく。

**佐藤** 高木前市長が残した「うきはテロワール」に今後どのように取り組むのか。

**市長** 次世代につなぐ持続可能なまちづくりをスローガンとして掲げる上で、このまちと子どもたちの将来のため、「うきはテロワール」の理念についても、今後、さまざまな施策にさまざまな形で生かせるように取り組んでいく。

**佐藤** 市長の好きな言葉として、山本五十六の「やってみせ、言っ



▲次世代につなぐ持続可能なまちづくり

## 1 農業政策の課題に関する調査

調査期日：令和6年7月19日(金)

調査要旨：農業振興に関するプロジェクト会議のテーマ協議

## 2 脱炭素先行地域づくりに関する調査

調査期日：令和6年8月1日(木)

調査要旨：脱炭素先行地域づくりに関する調査



うきは市  
ゼロカーボン  
ビジョン



### 主な内容

#### 1 農業振興に関するプロジェクト会議について

①各委員から、新規就農・担い手が継承できるような、区画や圃場整備を行い、DX等スマート農業普及を図ること。  
②農地について、可能なものから「集約」し、合意形成を図ること。  
③果樹の事業継承について、JAが実施している「次世代総点検運動」や「生産物のマップピング」「就農へのマッチング」等、行政から支援策を出すべきとのこと。  
④就農を目指す半農半Xや協力隊の確保、収穫までの生活支援、JAが行っている技術的指導研修制度(トレーナー制度)への支援等、担い手確保に支援策を示すこと。  
以上、テーマとして要望をまとめた。

#### 2 脱炭素先行地域づくり事業について

農業×観光×生物多様性保全で築き上げるうきは市の「脱炭素型農村モデルづくり事業」が、環境省の認定を受けた。(令和6、10年度)  
①観光・農業振興エリア(道の駅・ホテル・観光農園)②住まいの提供エリア(西隈上団地・うきはアリーナ・福祉施設)③働く場づくりエリア(うきは工業団地・富永工業団地等(木質バイオマス発電)、④生物多様性の保全エリア(遊休市有地)を含む姫治地区全域(省エネ・再エネ化)⑤公共施設群(高圧契約施設)の5つのエリアで電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出を実質ゼロにする取組である。  
気候危機は、自然災害の深刻化や農作物への影響をはじめ、社会の各分野に重大な影響を及ぼす現状から、議会として内容の検証と市民への説明を求め、今後も調査する。

引き続き  
調査継続!

## 本市の今後の小中学校の在り方に関する調査

調査期日・調査場所 令和6年7月16日(火) 市役所3階第2委員会室で実施

**内容** 少子化の進む浮羽町域で、築50年となる浮羽中の建替え等の検討を執行部に対し提言するにあたり、文部科学省が推進方策として進めている小中一貫教育の背景等を確認し、学校の社会性育成機能の強化の必要性等について検証を行った。最近の小中一貫校や連携校について先進地視察を実施し、更なる検証を行うとした。

調査期日・調査場所 令和6年8月19日(月) 飯塚市視察

**調査趣旨** 文部科学省資料によると、小中連携あるいは一貫教育の実施により、「小学生の中学校進学に対する不安感を軽減する」「上級生である自らに自覚的となることで自尊感情を高め、生徒の暴力行為や不登校、いじめの解消につなげていく」ことを目的としている。そこで、「小中一貫校の取組」に関し、全国有数の先進地である飯塚市への行政視察を行った。

**主な内容** 飯塚市の小中一貫教育の取組が始まった経緯や適正配置・適正規模についての検証、施設の複合化・多機能化、地域との連携、教育環境の課題抽出の経過などについて確認した。また、施設一体型の小中一貫校現地視察も行い、一体型の場合、ソフト・ハード両面で9年間通じて子どもたちの成長を支える環境整備が行いやすい状況を把握した。小学生・中学生が共に生活することで、中学生には自己有用感、小学生には目的意識が出てきて、いずれも生活面が向上し、授業を落ち着いた受けられるようになり、小中学校で全体的に学力向上ができていた。



▲飯塚市立幸袋校(小中一貫・一体型)



令和5年度

# 市民の皆さんとの意見交換会の報告

各自治協議会での意見交換会で出た要望・質問への市からの回答です。

## 共通性が高い課題

- 道路・・・路面補修、拡幅、掛り枝の処置（特に山間地域）など
- 防災・・・治水（巨瀬川流域緊急治水対策進行中）、早期避難、避難所見直し、防災研修など
- 空き家・・・危険空き家の撤去、終活支援、不在所有者対策、空き家バンクの見直し



## 各自治協議会の主な要望・質問と市からの回答

自治協議会	要望・質問	回答
田箆	県道にかかる木竹の伐採	道路管理者（県）が、通行を妨げる分は都度伐採。それ以外は関係者に引き続き要望。
江南	豪雨時の浸水対策	市営河川は浚渫（しゅんせつ）を実施中。豪雨前の対策を行う。美津留川は令和3年度から県に要望している。
新川	山村振興基金終了後の資金	必要に応じて過疎債や辺地債を活用する。
吉井	伝建地区の駐車場の在り方	改善に向け検討している。
山春	農地の荒廃化対策	予防としての事業継承やマッチングに取り組む。草刈り協議会の支援も考える。
妹川	①県道の安全確保 ②災害時の避難場所確保	①県へ要望中。継続して要望していく。 ②自主防災組織を支援する。
小塩	耳納山麓土地改良区内農地の荒廃化対策	新規就農者への事業継承や、マッチング等の他、不在地主対策などにも、土地改良区や農業委員会と連携して取り組んでいく。
大石	おいしい絆クラブへの支援	模範的で重要な取組。意識の醸成、広域的課題としての支援の検討を行いたい。
福富	①RDFの経過報告を ②上水道に賛否の両意見	①地元7行政区に順次説明した。 ②能登の地震では長期間断水したが、水質の不安や枯渇の心配もあるので、上水の確保は重要な課題。
千年	所有者不明の空き家対策	連絡を受ければ調査して適正管理をお願いしている。
御幸	※令和6年度の開催	

## 令和6年度の予定

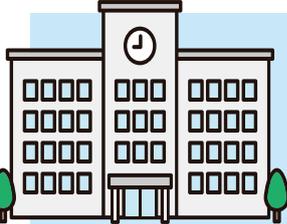
各常任委員会が所管分野の団体の方との意見交換を行います。（詳細は協議中）



**総務産業常任委員会**

予定

- うきは市商工会
- 認定農業者協議会



**厚生文教常任委員会**

教育関係・保護者の方々

## 市民の声

## 願いは「うきは市の出生率アップ!」です



うきは市吉井町在住  
篠原 明子 さん

第一子が小学生になるタイミングで、連れ合いの出身地である吉井町に住み始めて8年目。3人の子育てをしながら、子育てママのためのベビーマッサージ教室、資格講座を開講し「子育て期間が女性のキャリアの空白にならない働き方」を提案しています。また、家族の「今」を写真に残すフォトグラファーとしても活動しています。

これらの活動をする私の願いは「うきは市の出生率アップ」です。ここで生まれ育つ子どもが増えることで、さまざまな世代の人にとっても繋がりが広がり、地域に若い世代がいることで、子どもたちだけではなく高齢者も安心して暮らせるような地域になると考えます。6年間子育てをした他市と比べても、うきは市は人があたたかく自然豊かで子育てしやすいまちです。しかし一方では、高校の進学先や働き口の選択肢が少ないため、市外に住むという選択をする人が多いのではないかと感じられます。少しでも変わっていくことで、うきは市の人口増加につながり、ひいては将来の出生率アップにつながると考えています。私も「うきは市で子育てが楽しい」と思ってもらえるように、これからも多くの子育て世代と繋がりを築いていきたいと思っています。



## 表紙紹介

### 議会を傍聴しませんか。

- ▶ 12月の議会定例会は  
12月6日(金)開催予定です。
- ▶ 一般質問は  
12月9日(月)・10日(火)の予定です。
- ▶ 12月議会への請願書・陳情書は、11月26日(火)正午(予定)までに提出して下さい。



Youtubeのライブ配信や  
録画配信でもご覧いただけます。



うきは市民大学に参加した小学4～6年の子どもたちが、観光PRなどを市長や執行部に提言する「子ども議会」が行われました。

6班に分かれた子どもたちは、市の空き家対策やこれからの農業について市長へ提案を行いました。発表するまではとても緊張していましたが、出番が終わるとニコニコしている様子が印象的でした。何ごととも経験ですね！

## 編集後記



権藤新市長による初の定例会が開催されました。また、議員数14人から13人(定数14人)となり、1人欠員となりました。

9月議会では、子育て支援や教育の充実に伴う令和6年度肉付け予算審議や令和5年度決算審査、更には、多くの議員による新市長への施政方針や様々な課題について一般質問が行われ、盛りだくさんの内容となりました。各議員の質疑や議会活動がお伝えできたら幸いです。多くの市民の皆さんが、議会を身近に感じていただくため、読みやすく分かりやすい紙面づくりとなるよう努めていきます。  
(組坂公明)

### 発行責任者

議長 江藤 芳光

### 広報広聴委員会

委員長 熊懷 和明  
副委員長 組坂 公明  
委員 岩淵 和明  
竹永 茂美  
高松 幸茂  
高木 亜希子